学校番号	1016

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	はじめての介護	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は、将来何らかの形で福祉の職に就こうと考えている人に特におすすめです。座学もありますが主に外部講師による実習中心となります。外部講師の方は実際に現在介護現場で仕事をしている介護福祉士やケアマネージャーの方ですので、今の最新の介護技術や介護に対する考え方を知ることができます。最終的には、卒業後すぐに介護施設等に就職する際に、即戦力となるような介護技術を身につけることが目標です。

シーツ交換、移乗、食事介助、排泄介助、車いす操作など、生活支援に関する実習内容は多岐にわたります。また、グループ演習等で対人援助のあり方について学び、他者の考えや価値観の違い等に気付けるよう、また、１人１人の生活によりそった介護技術に関する基礎的な知識も習得していきます。

卒業後、福祉（特に介護）に進みたい人にとって、必要とする基礎的な介護に関する知識や技術を学ぶとともに「ふくしの心」も育みます。

そして、自立とは何かを考え、自立生活支援のあり方を考えます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
自立生活の支援について、課題を発見し、試行錯誤しながら、その問題を解決する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の適切な支援に主体的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活支援について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、倫理観をふまえながら、ケースに合った問題解決をしている。	自立生活支援に対する関心を高め、様々な課題に意欲を持って目を向けるとともに、適切な支援に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	生活支援の理解	・生活の個別性や多様性を理解し、QOL の維持・向上を目指した生活支援のあり方を考察する。 ・ライフサイクルの変化やライフステージ、高齢者の生活について考察する。 ・利用者がその人らしく生きるために、尊厳を保持することの重要性を理解し、生活支援について考察する。 ・福祉用具の種類や導入のプロセスを理解し、その人に合った福祉用具を考察し、実践する。 ・日常生活支援におけるリハビリテーションについて考察する。 ・感染症予防の基礎知識を理解し、感染予防対策と介護について考察する。 ・チーム医療としての介護者の立場について、円滑な意思疎通をはかる方法(コミュニケーション技術等)について考察、実践する。	a:生活支援の考え方を把握し、生活支援に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と福祉の関連性、と意義・役割を理解している。 b:社会構造の変容、ライフスタイルの多様化に影響を受ける福祉の諸課題に向き合い、解決に向け適切に考え判断し、表現する能力を身に付けている。 c:生活支援の理念について関心を高め、利用者本位の支援のあり方を意欲的に追求する態度・技術を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 振り返りシート	ワークシート 実習 振り返りシート

2	自立に向けた生活支援	・居住環境整備の基本理念を理解し、快適で安全な住まいにするための環境整備について理解する。 ・家事支援の意義、目的を理解し、家事全般の技法（掃除、洗濯、買い物等）を身につける。 ・身じたくの意義、目的、アセスメントの視点を理解し、身じたくの支援の技法（洗面、ひげそり、口腔ケア等）を身につける。 ・移動の支援の技法を理解し、利用者も介助者も安全で安心な介護技術を身につける。 ・食事の意義、目的を理解するとともに、食事の支援技法を身につける。 ・入浴・生活保持に関連したこころとからだのしくみを理解し、利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な介護技術を身につける。 ・排泄の意義、目的、しくみを理解するとともに、利用者の心身の状況に応じた安全で安楽な介護技術を身につける。 ・睡眠・休養の意義、目的、を理解するとともに、利用者の安眠を促すための介護技術を身につける。 ・レクリエーションの意義、目的を理解し、利用者の生活を活性化させるための介護技術を身につける。	a:自立に向けた生活支援の概要に関する基礎的な知識を身に付け、意義・目的を理解している。 b:自立に向けた生活支援について思考を深め、課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c:自立に向けた生活支援に対して関心を持ち、生活支援における介護技術を身につけている。また、その際の課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 振り返りシート	ワークシート 実習 振り返りシート

3	終末期の支援、医療的ケア	・終末期とは何か、看取りについても理解し、利用者の意思を尊重した支援のあり方について考察する。 ・終末期の支援における介護従事者において必要な知識、役割を理解する。 ・エンゼルケアやグリーフケアについて理解する。 ・医療的ケアの意義・目的を理解し、介護者としてできることは何かを考察する。 ・医療的ケアにおける感染予防対策の技術を身につける。（手指の消毒、手袋の着用、マスクの着用等） ・心身の健康について理解し、バイタルサインの測定方法を身につける。	a:終末期や医療的ケアに関する基礎的な知識を身に付けるとともに、介護者の役割について理解している。 b:終末期や医療的ケアに関する思考を深め、その支援における介護者の役割に関する課題を発見し、解決する能力しようとしている。 c:終末期や医療的ケアに対して関心を持ち、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 振り返りシート	ワークシート 実習 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度